



## 森林の大切さを学ぶ木育教室

1月25日、2月22・29日、松浦小学校と黒川小学校の5年生を対象にした木育教室が開催されました。

この教室は、木に触れる体験などを通して、小学生に森林と林業の大切さを学んでもらうことを目的に、昨年開催されているものです。

児童たちは『森林と私たちの暮らし』をテーマに学習したり、金づちやボンドを使い、木材を組み立て、いすや踏み台として使える万能台を製作したりしました。

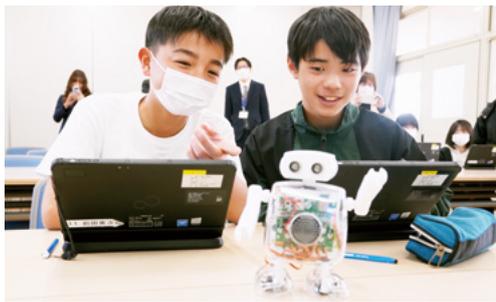


↑伊万里西松浦森林組合の岩永勝義さんの指導の下、松浦小学校の児童たちは手際よく万能台を製作していました

## ロボットプログラミング出前授業

2月28日、南波多郷学館でロボットプログラミングの出前授業が行われました。

これは、児童のプログラミングへの興味や関心を高めようと、市からこの取り組みについての委託を受けた、市内IT企業の『タイムカプセル株式会社』が、講師を派遣して実践的なプログラミング教育を行ったもので、児童たちは、スクラッチと呼ばれるプログラミングソフトを使い、カラフルなブロックをつなげていき、まるでブロック遊びをしているような感覚で、ロボットを動かしたり音声を与えたりしていました。



↑児童たちは終盤になると自由にロボットを操作できるようになり、とても楽しそうでした

## 選挙の出前講座

2月19日、伊万里看護学校で選挙の出前講座があり、伊万里看護学校准看護科の2年生が受講しました。

これは、政治や選挙について学ぶ機会を創出し、主権者の一員としての意識を醸成しようと、市明るい選挙推進協議会と市選挙管理委員会が、市議会と協力して開いたものです。

講座は、市明るい選挙推進協議会の杉原あけみ副会長などが講師を務め、選挙クイズなどをしながら選挙の意義や重要性を話したり、市の将来などについてグループで討議したりするなど、学生に選挙を身近に捉える機会が提供されました。



↑グループ討議は制限時間になっても話し足りないといった様子で盛り上がりを見せていました

# 郷土の文化財

●問合先 生涯学習課文化財係 ☎22-1262

## 史跡大川内鍋島窯跡調査事業

はっぱうしやしたかまろ

### 日峯社下窯跡の調査成果⑫

日峯社下窯跡から出土した初期鍋島の製品について紹介しています。

【写真①】の皿も意匠が盗用されないように意図的に割られていました。ちょうど花が描かれているところ（丸印）が欠けていますが、この部分に堅い物をぶつけたと考えることができます。図柄は、ひまわりのような花と白いアメーバのような不思議な形のもものが描かれています。

ひまわりのような花は、想像上の花で、焼き物の図案としては『唐花』といえます。【写真②】も初期鍋島ですが【写真①】と同じようにアメーバのような不思議な形のもものが描かれています。これは、雪を表しており、雪の六角形の結晶を丸くかたどって図案化したもので『雪輪』といえます。【写真③】の伝世品は確認されていますが、【写真①】の伝世品は見つかっていません。

【写真①】



【写真②】

